



初志貫徹

二〇〇八年始動

埼玉県議会議員
無所属刷新の会

中屋敷慎一

チャレンジ通信

なかやしき慎一チャレンジ報告

発行者
無所属刷新の会
県議会議員 中屋敷慎一
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256

討議資料

年、平成20年もういよいよスタートしました。皆様方には、倍旧の御指導御鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。5月の初登庁から「あっ」という間の8カ月が過ぎ、11月には第一回県政報告会、そして、12月10日には一般質問初登壇とめまぐるしい年末ではありませんが、皆様のご支援によりまして、大変充実した日々を送る事が出来ました。ありがとうございます。

さて、私の県議会議員としての報告書「チャレンジ通信」も創刊号・第



2号については「中屋敷慎一後援会」・「新こうのすチャレンジクラブ」の皆様を中心に届けさせていただけました。しかし、それだけでは一票を投じて下さったすべての皆様には届くわけではなく失礼の極みとなってしまっています。そこで、第3号の発行を迎えるにあたり、もっと県議会と皆様の距離感を身近なものとして頂くために、そして、私の活動をもっと知っていただくために、旧鴻巣市・旧吹上町については全戸配布させて頂くことといたしました。拙い部分もあるかと思いますが、一生懸命にお伝えして参りますのでお目通しの程宜しくお願い致します。

12月定例議会 主な内容

埼玉県議会12月定例会は、12月4日に開会し、21日に会期末を迎えました。9月定例会会期末からひと月半余りという短い時間にもかかわらず、非常にあわただしく感じました。そして、あわただしさを増幅したのは、今定例会に初の一般質問の機会を頂けたせいもあったと思います。

今定例会には、知事提出議案46件、請願7件、意見書5件が上程されました。知事提出議案では、高金利負債の繰り上げ償還など計48億5千万円の一般会計補正予算案や地域振興センター設置条例案、総合政策部と総務部を企画財政、総務、県民生活の三部に再編する組織改正案、そして、人事案件では、県収用委員に、県建築審査会会長の加藤啓二氏と前所沢市長の齋藤博氏を、予備委員には、日本司法支援センター埼玉地方事務所副所長の白鳥敏



男氏を任命する案などが可決・同意されました。請願では、今会議に初めて提出された、「悪徳商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書の提出については」は全会一致で採択されましたが、6・9月定例会でも継続審査になった、公職選挙法違反罪に問われ公判中の近藤義則県議の「辞職勧告決議を求める請願」と「県政調査費の使途の明確化を求める請願」については、三度目の継続審査になってしまいました。ただ、「県政調査費の使途の明確化を求める請願」が付託された

平成20年度 埼玉県予算編成に関する要望書



平成19年11月7日「無所属刷新の会」が上田知事に予算要望いたしました。

◆地元問題(鴻巣市)

鴻巣市はJR高崎線に3つの駅(鴻巣、北鴻巣、吹上)を有し、各駅前整備事業の推進に伴う交通量の増大など、今後大きな変化が予想されます。そこで県による周辺の道路整備事業の推進を望むものであります。

また、市内を通る国道17号バイパスと県道の交差点付近に生じる慢性的な渋滞を回避しスムーズな交通を確保するために交差点改良工事の推進にも力を注いでいただきたく、以下に具体的な要望を記します。

- 市街地再開発鴻巣駅東口C、E地区事業の早期推進
- 北鴻巣駅西口再開発に伴う主要地方道鴻巣・川島線、一般県道鎌塚・鴻巣線分岐 追分交差点改良事業の推進
- 吹上駅北口再開発事業に伴う駅前通線整備事業の推進
- 主要地方道鴻巣・川島線、宮前交差点からJR高崎線踏切間整備事業の早期着工
- 主要地方道加須・鴻巣線、笠原大橋改築整備事業の推進
- 主要地方道鴻巣・羽生線、宮地交差点改良事業の推進
- 主要地方道行田・蓮田線、加須・鴻巣線 笠原交差点から笠原小学校付近の歩道整備事業の推進

「編集後記」

初めての一般質問登壇、やっぱり緊張しました。でも、改めて頑張らねばとの思いも深め、県政をもっと皆さんに知ってもらいたいとの思いも強くしました。そんな訳で、今回の通信も文字ばかりになっちゃいました。ゴメンナサイ。 慎一

県議会 Q&A

Q. 県議会の一般質問、毎回希望すればできるのですか？

A. 県議会では、一般質問の年間登壇者数を54名と定めています。6・9・12月定例会では15名ずつ、2月定例会では会派代表質問もある為、9名です。現在93名の議員がいますが、35名程度の議員は、質問に登壇できないこととなります。単純に計算すれば登壇率60%強ということです。ちなみに刷新の会は、今年3人登壇したので75%でした。ラッキーなのかな？

埼玉県議会議員
無所属刷新の会
中屋敷慎一事務所
鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256

なかやしき慎一後援会
新こうのすチャレンジクラブ
ご入会申し込み受け付けてます!!

E-mail challenge@nakayashiki.net
http://nakayashiki.net

ホームページからもご入会申し込み出来ます

★ご質問、ご要望、ご意見等も受け付けております。
中屋敷慎一事務所までお問い合わせお立ち寄り下さい。



小島議員と福島県議会議場にて

近県視察に福島県議会議場を訪ねた。議運の視察訪問先で一番気になるのは、政務調査費の扱い方である。福島県議会では、調査費の扱い方や開かれた議会の推進など様々な議会改革を検討する委員会が設けられていて、十月に最終報告がされている。五ヶ月間で九回の会議を持ち検討を重ねたそうである。やっとながらも、遅すぎるのでは？

議会運営委員会視察「福島県」

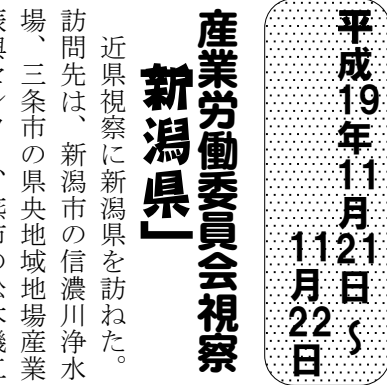
平成19年11月5日、11月6日



調和について
7 県央地域の救命救急医療の充実について
8 農業の振興について
(1) 小規模農家対策について
(2) 県産農産物のブランド化について
(3) 地元問題について
(1) 県道鴻巣川島線の通称追分交差点の改良について
(2) 県道鴻巣停車場線の仲仙道との交差点改良について
(3) 県道鴻巣川島線の改築整備について
その中で、産業観光の推進については、地元鴻巣の野本市議と連動し、市・県それぞれのとらえ方を確認したところ。県としては、各地地場産業のさらなる発展のチャンスとして捉え、そして、ホンダをはじめとする新規県内参入企業にも、「見て、楽しみ、学び」、「魅力的な見せる工場」という観点も併せ持つようにお願いしている。

産業労働委員会視察「新潟県」
近県視察に新潟県を訪ねた。訪問先は、新潟市の信濃川浄水場、三条市の県央地域地場産業振興センター、燕市の松本機工株式会社。信濃川浄水場は、平成十七年十月に運転を開始した新しい浄水場で、「環境に優しい」、「災害に強い」、「市民に親しまれる」の三つの運営目標を柱に展開されている。停電時にも自然流化による域内配水を可能とする地上53mの高架配水塔は特に印象的であった。ただ、700万県民を抱える本県の実情とはダイレクトに結びつけづらいように感じた。三条市・燕市は、昔から刃物や金属洋食器の製造が盛んな地域であり、振興センターの活動は、ブランドイメージの確立や販売促進に大きな役割を果たしている。センターの中には、広いショールームや販売所もあり休日には観光客もたくさん来るらしい。やっぱり地場産業の育成は、官民一体でなければと改めて感じた。

平成19年11月21日、11月22日



◆12月活動報告

- 12月1日 児童支援の会「はばたき」餅つき・昔遊び大会 *於 吹上小
12月2日 鴻巣医師会忘年会 *於 行田市
12月4日 KTC杯テニス大会 *於 上谷テニスコート
12月6日 びっくりになまつり実行委員会 *於 市役所
12月7日 12月定例議会 開催日 *於 県議会議事堂
12月8日 議会運営委員会
12月9日 発言通告切
12月10日 議会運営委員会 発言通告修正切
12月11日 鴻巣地区職組常会
12月12日 KTC鴻巣硬式テニスクラブ総会 *於 大正屋
12月13日 県議会一般質問登壇 *於 県議会議事堂
12月14日 日本改造青年フォーラム役員会
12月15日 鴻巣青年会議所OB会臨時総会 *於 レストラン蔵王
12月16日 市功績者表彰受賞(スポーツ功労) *於 クリアこうのす
12月17日 関税会鴻巣支部役員会 満足度推進クラブ役員会
12月18日 鴻巣地区安全協会鴻巣支部役員親睦会
12月19日 体育協会役員会・常任理事会
12月20日 産業労働企業常任委員会
12月21日 少子・高齢福祉社会対策特別委員会
12月22日 12月定例議会 閉会日
12月23日 大島あつし後援会 年末懇親会
12月24日 テレビ広報「こんにちは県議会です」収録
12月25日 埼玉県都市計画審議会 *於 浦和東武ホテル

松本機工は、避難器具製造メーカーで、緩降機や避難はしこの国内シェア第1位を誇る、高い技術力で有名なものづくり企業である。当日は、社長自ら見学の案内をしてくださり、仕事にかける熱い思いも伝わってきた。企業を繁栄させるのは、リーダーの強い信念と熱い情熱である。



島山議員と信濃川浄水場管理センターにて

1月活動予定もホームページで随時更新しています!!

一般質問の質問、答弁内容についてはホームページに掲載しています！是非ご覧下さい(*^_^*)

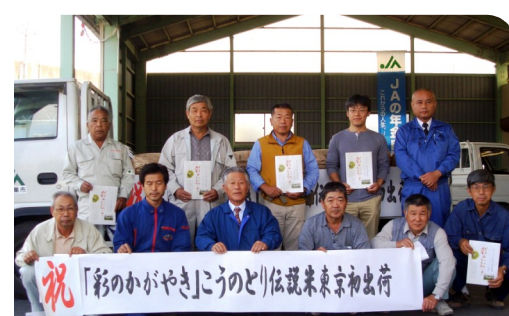
議会運営委員会において、この問題も含めた議会のあり方についての検討組織を立ち上げ、検討を始める方向が示されました。わが会派の共通目標でもあるこの問題が、今後スピーディーに「公開」という開かれた方向にいち早く進められるように努力せねばと改めて決意しました。そのためにまず、新年を迎えて最初の会派視察を、この問題の先進地である長野県議会へと定めて日程の調整中です。一般質問2日目の2番手として登壇させて頂いた初質問の内容ですが、
1 産業観光の推進について
2 広聴のさらなる充実について
3 スポーツの振興について
(1) 中学校の部活動について
(2) 総合型地域スポーツクラブの支援策について
4 特別支援教育について
5 職業意識を高くもつ教育について
6 圏央道沿線産業基盤づくりと周辺環境との

調和について
7 県央地域の救命救急医療の充実について
8 農業の振興について
(1) 小規模農家対策について
(2) 県産農産物のブランド化について
(3) 地元問題について
(1) 県道鴻巣川島線の通称追分交差点の改良について
(2) 県道鴻巣停車場線の仲仙道との交差点改良について
(3) 県道鴻巣川島線の改築整備について
その中で、産業観光の推進については、地元鴻巣の野本市議と連動し、市・県それぞれのとらえ方を確認したところ。県としては、各地地場産業のさらなる発展のチャンスとして捉え、そして、ホンダをはじめとする新規県内参入企業にも、「見て、楽しみ、学び」、「魅力的な見せる工場」という観点も併せ持つようにお願いしている。

との答弁を頂きました。また、知事答弁の中でわが市においては、「雛人形」、「花」が産業としても観光スポットとしても注目されている。との話もありました。
広聴のさらなる充実については、メールなどへの対応や県政出前講座の充実を進め、今後はITの活用による双方の意見交換のできるような、県政七二五制度の充実を図りたいとの答弁を頂きました。
中学校の部活動については、外部指導者も顧問教員と同様に「運動部活動指導者講習会」への参加が出来るようにするなどの外部指導者活用支援を進めるとの答弁を頂きました。
総合型地域スポーツクラブ支援の今後の取り組みとしては、県内の各総合型地域スポーツクラブを構成員とする協議会を設立し、クラブ間交流、用具の貸し借りなどの相互協力、情報交換を進めるとの答弁を頂きました。
圏央道沿線産業基盤づくりと周辺環境との調和につ

いては、インターチェンジや産業団地の周辺部など乱開発の懸念される場所では、都市計画法や農地法に加え景観法を活用し、乱開発の抑止に総合的に取り組むとの答弁がなされました。
県央地域の救命救急医療の充実については、県央地域に既に20の病院と273の診療所を効率的・効果的に活用する必要があり、策定中の第5次埼玉県地域保健医療計画の中で、救命救急医療を含めたこれからの医療連携体制の在り方を図るにより具体的に示すとの答弁がなされました。
小規模農家対策については、今後とも小規模農家であっても力を発揮できるように、普及指導員の活動を充実させ、農産物の直売や農産加工、観光農業、体験農業など多様な農業の振興に努めるとの答弁がなされました。
県産農産物のブランド化については、今後とも、農業団体や市町村など一層連携して、県産農産物の販

路拡大に努め、元気の出る農業となるようブランド化の推進に積極的に取り組むとの答弁がなされました。
地元問題の、(1)通称追分交差点の改良については、整備時期や役割分担などについて市と十分に調整を図り検討する。(2)鴻巣停車場線の仲仙道との交差点改良については、平成20年度に中仙道の拡幅計画を含めた交差点設計を行うとともに、鴻巣駅東口の再開発事業者との十分な調整も行う。(3)鴻巣川島線の改築整備については、高崎線西側区間の平成20年早々の拡幅工事着手に向け、準備中であると



JA鴻巣市特別栽培米部会の皆さん